

飯舘村 in すぎなみ

話して、食べて、つながろう！

2018年2月24日(土)13:30~17:50

会場 (株)細田工務店 杉並リボン館 阿佐ヶ谷駅南口徒歩3分

主催 認定NPO法人 ふくしま再生の会

※定員100名

私たちは、福島原発事故後の2011年6月以来、飯舘村に活動の拠点を設け、村民の方々と共に知恵を出し合いながら再生へ向けた各種のプロジェクトを推進してきました。避難指示解除から間もなく1年が経ちますが、帰村した村民は中高年中心でまだまだ少ない状態です。

今後、生活やなりわいの再生を着実に推進していくためには、都市に暮らす住民のみなさんと飯舘村とが、お互いにつながって理解し合い、支え合うことが大切です。さまざまな立場から協働の目標を作り出そうという試みを、飯舘村と杉並の地域からスタートしたいと願っています。



養液土耕栽培ハウスのホウレン草 2018年1月

◆ 主なスピーカー

飯舘村佐須行政長	佐藤公一
本会福島代表・副理事長	菅野宗夫
明治大学農学部元教授	竹迫 紘
明治大学黒川農場客員教授	小清水正美
佐須老人クラブ副会長	菅野永徳
本会副理事長・東大大学院教授	溝口 勝



小松菜のケーキサレ 2015年9月



ビー太郎・パブリカのピクルス 2017年9月



佐須のひとめぼれ 2017年10月



ビー太郎オイル漬 2017年9月

参加費 1,000円(資料代・懇親会費として) ※カンパ歓迎
 申込み 当会ホームページ <http://www.fukushima-saisei.jp> より
 またはメールにて sympo2018@fukushima-saisei.jp

後援 飯舘村佐須行政区活性化協議会、NPO法人CBすぎなみプラス、明治大学農学部、明治大学付属黒川農場、東京大学農学生命科学研究科アグリコクーン農における放射線影響F G NPO法人都市農村交流推進センター、認定NPO法人ふるさと回帰支援センター、オイシックスドット大地(株)、(株)カタログハウス、(公財)渥美国際交流財団SGRA、(株)富士通SSL、(株)細田工務店
 協力 大提燈米穀店

当日は明治大学農学部の皆さんがサポートされている飯舘村の農産物や特産品の試食と説明も予定しています。

2018年2月1日~28日の間、すぎなみ協働プラザ(阿佐谷地域区民センター4階)にて、ふくしま再生の会のポスター展を開催します。合わせてご覧ください。

お問合せ ふくしま再生の会事務局 メール: desk@fukushima-saisei.jp 電話: 03-6265-5850

報告会プログラム（予定）

13:00 受付

13:30 開会

主催者挨拶 ふくしま再生の会理事長 田尾陽一

主な参加者ご紹介 飯舘村村民、後援団体

14:00 <報告>

飯舘村佐須行政区長 佐藤公一 佐須の地域活性化計画とソバ・菜種作り

本会福島代表・副理事長 菅野宗夫 農業再生の試み 酒米・ハウス野菜など

元明治大学教授 竹迫 紘 佐須滑地区「明大ハウス」の栽培の現状と今後

明治大学黒川農場客員教授 小清水正美 佐須のヤーコンジャム作りなどの可能性
質疑

15:00 <試食会> 飯舘村のお米、ヤーコンジャム、ハウレンソウ菓子など（適宜休憩）

15:40 <報告>

佐須老人クラブ副会長 菅野永徳 都市住民との交流と佐須地域コミュニティの再生

本会副理事長 大永貴規 飯舘村の交流事業の具体化

本会副理事長・東大大学院教授 溝口 勝 飯舘村の農業再生の課題

杉並地域住民、後援団体などより

質疑

17:40 まとめ 田尾陽一

17:50 閉会

18:00～18:45 同会場にて懇親会

